

# 越前町の平成23年度決算に基づく 健全化判断比率と資金不足比率を公表します

「健全化判断比率」と「資金不足比率」は、財政の健全度合いを計るための指標で、毎年議会に報告し、公表することになっています。

健全化判断比率には、実質赤字比率（普通会計における赤字の度合い）、連結実質赤字比率（普通会計、特別会計、事業会計を合わせた赤字の度合い）、実質公債費比率、将来負担比率があります。このうち、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については赤字となっていないため、ここでは実質公債費比率及び将来負担比率について説明します。

また、資金不足比率は事業会計（上下水道、病院）における資金不足の度合いを示したもので、各会計とも資金不足は無く、経営は健全となっています。

## 実質公債費比率は12.7% ⇒前年度と比べ1.3ポイント改善

実質公債費比率とは、借金の返済額とこれに準じる額（※）が、町税や国から交付される地方交付税などの標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを表した指標です。

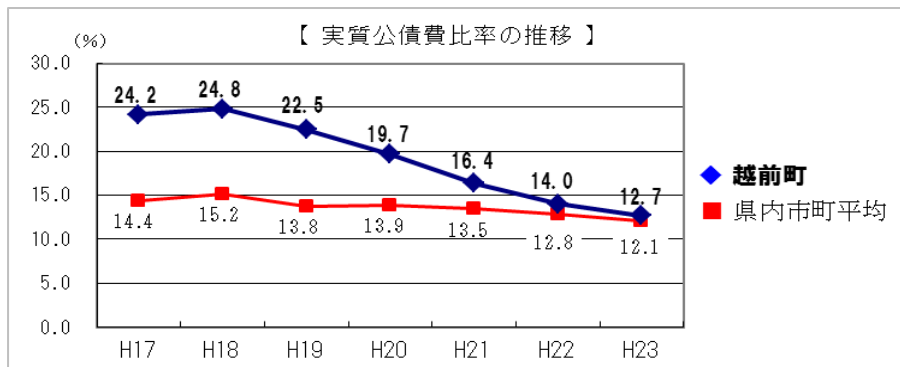
この比率が高いということは、町財政に対する借金の負担が大きいということになります。

町の平成17年度から平成20年度までの実質公債費比率は、県の許可がなければ借金ができない18%以上で、借金の負担が大きくなっていました。

このため、「公債費負担適正化計画」を策定し、借金の繰り上げ返済や金利の低い借金への借換え、借金を財源とする事業の計画的な実施による新たな借金の抑制により、借金の負担を減らしてきました。

このような財政健全化の取り組みの結果、実質公債費比率は、平成21年度では16.4%、平成22年度では14.0%となりました。

平成23年度決算では12.7%で、前年度決算と比べるとさらに1.3ポイント改善しています。



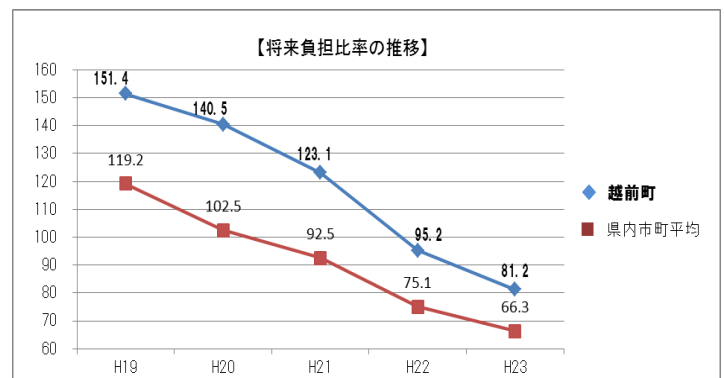
（※）これに準じる額とは、公営企業（上下水道、病院）や一部事務組合に対する町からの負担金などのうち、借金の返済に充てられたとみられる額をいいます。

## 将来負担比率は81.2% ⇒前年度と比べ14.0ポイント改善

将来負担比率とは、借金や将来支払わなければならない負担などの現時点での残高が、町税や国から交付される地方交付税などの標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを表した指標です。

この比率が高いということは、現在背負っている借金などが将来的に財政を圧迫する可能性が高いということになります。

将来負担比率は、平成23年度では81.2%で、前年度と比べると14.0ポイント改善し、町財政に対する借金などの将来負担は年々減ってきています。



# 健全化判断比率と資金不足比率は「健全」を維持

越前町の平成23年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率は、すべて基準を下回っていますので、財政は「健全」といえます。

このように、借金の現状や、実質公債費比率と将来負担比率からみた財政状況は年々改善されているものの、財政運営はまだ厳しい状況にあるため、引き続き財政の健全化に取り組んでいく必要があります。

## 越前町の平成23年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率

### 健全化判断比率

指 標	越前町		早期健全化 基準	財政再生 基準
	平成23年度決算	平成22年度決算		
実質赤字比率	黒字	黒字	13.54%	20.0%
連結実質赤字比率	黒字	黒字	18.54%	30.0%
実質公債費比率	12.7%	14.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	81.2%	95.2%	350.0%	—

### 資金不足比率

公 営 企 業 会 計	越前町		経営健全化 基準
	平成23年度決算	平成22年度決算	
簡易水道事業	資金不足なし	資金不足なし	20.0%
公共下水道事業	資金不足なし	資金不足なし	20.0%
集落排水事業	資金不足なし	資金不足なし	20.0%
上水道事業	資金不足なし	資金不足なし	20.0%
国民健康保険病院事業	資金不足なし	資金不足なし	20.0%



### 用語の解説

「実質赤字比率」とは、一般会計などにおける標準的な収入に対する赤字の割合を表します。越前町は赤字ではなく黒字です。

「連結実質赤字比率」とは、すべての会計における標準的な収入に対する赤字の割合を表します。越前町はすべての会計が黒字です。

「実質公債費比率」とは、標準的な収入に対する借金の返済額の割合を3か年平均で表します。この比率が高まると、自由に使えるお金が少なくなり、住民サービスの低下をまねく恐れがあります。越前町は基準を下回っていますが、今後も新たな借金の発行の抑制や、高金利の借金の繰上げ返済などを計画的に行い、この比率を適正な水準に保ちます。

「将来負担比率」とは、標準的な収入に対するすべての会計における借金や契約などで支払いを約束した経費などの現時点での残高の割合を表します。この比率が高くなるほど、将来財政を圧迫する可能性が高くなります。

「資金不足比率」とは、公営企業会計における料金収入などに対する資金不足額の割合を表します。越前町はすべての会計で資金不足がありません。